

対象校No. 679
注4

学校コード F117310105497
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部の設置
注1

認可

注2
金沢学院大学 情報工学部 情報工学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正後大学設置基準適用)

学校法人金沢学院大学
令和8年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	企画部
職名・氏名	カチヨウホサ オクムラエ リコ 課長補佐・奥村絵梨子
電話番号	076-229-8892 (内線: 334)
(夜間)	076-229-8892 (内線: 334)
e-mail	kikaku@kanazawa-gu.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称: ◇◇学科(令和◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・「〇〇短期大学 △△学科」
・「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)」
・「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和8年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

情報工学部

＜情報工学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	17
4. 既設大学等の状況	18
5. 教育研究実施組織の状況	20
6. 附帯事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	35

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人金沢学院大学

(2) 大 学 名

金沢学院大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒920-1392
石川県金沢市末町10の5番地

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(アキヤマ ミノル) 秋 山 稔 (平成29年1月)		
学 長	(アキヤマ ミノル) 秋 山 稔 (平成25年4月)		
学 部 長	(タカギ ナオフミ) 高 木 直 史 (令和6年4月)		
学科長等	(クワノ ヒロアキ) 桑 野 裕 昭 (令和6年4月)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。
(例) 令和7年度に報告する内容 → (7)
令和8年度に報告する内容 → (8)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・ 様式は、令和3年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和8年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる『「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）・短期大学・高等専門学校・専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) ー① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
情報工学部 情報工学科 学士（工学）	工学関係	4年	100人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	400人	－	

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「－」を選択。）

(5) ー② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 100 (ー) [ー]	人 100 (ー) [ー]	人 100 (ー) [ー]	人 100 (ー) [ー]	人 100 (ー) [ー]	人 100 (ー) [ー]	人 100 (ー) [ー]	－	0.46倍	一倍	
志願者数	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 153 (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 194 (ー) [1]	人 － (ー) [ー]	人 205 (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	春季入学以外 の入学時期と 入学定員内訳			
受験者数	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 153 (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 188 (ー) [1]	人 － (ー) [ー]	人 200 (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]				
合格者数	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 130 (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 149 (ー) [1]	人 － (ー) [ー]	人 158 (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]				
B 入学者数	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 (ー) [ー]	人 36 (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 55 (ー) [1]	人 － (ー) [ー]	人 58 (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]				
入学定員超過率 B／A	－		－		－		0.36		0.55		0.58					

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「－」を記入してください。
 - ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ 転入学生は記入しないでください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「－」を選択。）
 - ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和9年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
 - ・ 「(5) ー② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5)－③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	36 [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	55 [1] (ー)	－ [ー] (ー)	58 [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	
2 年次			－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	31 [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	54 [1] (ー)	－ [ー] (ー)	
3 年次					－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	28 [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	
4 年次									－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	
計													

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和3年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	36 人	1 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	1 人	0 人	家庭の事情(1人)
令和7年度	86 人	4 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	3 人	0 人	その他(3人)
			令和7年度	1 人	0 人	修学意欲の低下(1人)
令和8年度	140 人	0 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
			令和7年度	0 人	0 人	
			令和8年度	0 人	0 人	
合 計		5 人		5 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例) ・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{1}{37} = \boxed{2.7} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{4}{90} = \boxed{4.44} \%$$

【令和8年度】

$$\frac{\text{令和8年度の退学者数(a)}}{\text{令和8年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{140} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<情報工学部 情報工学科>

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当 年次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					の 基 幹 教 員 以 外 を 除 く (助 手)
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
教 養 科 目	人 文 ・ 社 会 ・ 自 然 科 学 科 目	哲学Ⅰ	1前			2							1
		哲学Ⅱ	1後			2							1
		社会学Ⅰ	1前			2							1
		社会学Ⅱ	1後			2							1
		心理学の基礎	1前			2							1
		法学(日本国憲法)	1後			2							1
		経済学概論	1前			2							1
		自然科学概論Ⅰ	1前			2		1					
		自然科学概論Ⅱ	1後			2		1					
		自然地理学概説Ⅰ	1前			2		1					
		自然地理学概説Ⅱ	1後			2		1					
		小計(11科目)	－	－		22		1	0	0	0	0	5
	ツ ス ポ ー ツ 科 学 I	スポーツ科学	1前			2							1
		小計(1科目)	－	－		2		0	0	0	0	0	1
	キ ャ リ ア 科 目	就業体験(インターンシップ等)	1通			1		1					
		ボランティア体験	1後			1		1					
		小計(2科目)	－	－		2		1	0	0	0	0	0
	英 語 科 目	英語Ⅰ	1前		2								5
		英語Ⅱ	1後		2								5
		英語Ⅲ	2前		2								1
		英語Ⅳ	2後		2								1
		TOEIC EnglishⅠ	2前			2							1
		TOEIC EnglishⅡ	2後			2							1
		総合英語Ⅰ	3前			2							1
		総合英語Ⅱ	3後			2							1
		英語コミュニケーションⅠ	3前			2							1
		英語コミュニケーションⅡ	3後			2							1
		英語コミュニケーションⅢ	4前			2							1
		英語コミュニケーションⅣ	4後			2							1
		小計(12科目)	－	－	8	16		0	0	0	0	0	9
専 門 科 目	基 礎 科 目	微分積分学Ⅰ	1前	○	3			2		1			
		微分積分学Ⅱ	1後	○	3			2		1			
		線形代数学Ⅰ	1前	○	3			2		1			
		線形代数学Ⅱ	1後	○	3			2		1			
		統計基礎	1前	○	2			1					
		統計	1後	○	2			2					
		確率基礎	1前	○	2			1					
		物理A(力学)	1前/1後	○	2			1					
		物理B(電磁気学)	1前/1後	○	2					1			
		代数学	2前			2		1					
		幾何学	2後			2		1					
		小計(11科目)	－	－	22	4		7	0	2	0	0	0

【令和8年度】

科目区分		授業科目の名称	配当 年次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					の 基 幹 教 員 以 外 を 除 く (助 手)
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
教 養 科 目	人 文 ・ 社 会 ・ 自 然 科 学 科 目	哲学Ⅰ	1前			2							1
		哲学Ⅱ	1後			2							1
		社会学Ⅰ	1前			2							1
		社会学Ⅱ	1後			2							1
		心理学の基礎	1後			2							1
		法学(日本国憲法)	1後			2							1
		経済学概論	1前			2							1
		自然科学概論Ⅰ	1前			2		1					
		自然科学概論Ⅱ	1後			2		1					
		自然地理学概説Ⅰ	1前			2		1					
		自然地理学概説Ⅱ	1後			2		1					
		小計(11科目)	－	－		22		1	0	0	0	0	5
	ツ ス ポ ー ツ 科 学 I	スポーツ科学	1前			2							1
		小計(1科目)	－	－		2		0	0	0	0	0	1
	キ ャ リ ア 科 目	就業体験(インターンシップ等)	1通			1		1					
		ボランティア体験	1後			1		1					
		小計(2科目)	－	－		2		1	0	0	0	0	0
	英 語 科 目	英語Ⅰ	1前		2								5
		英語Ⅱ	1後		2								5
		英語Ⅲ	2前		2								1
		英語Ⅳ	2後		2								1
		TOEIC EnglishⅠ	2前			2							1
		TOEIC EnglishⅡ	2後			2							1
		総合英語Ⅰ	3前			2			1				
		総合英語Ⅱ	3後			2			1				
		英語コミュニケーションⅠ	3前			2							0
		英語コミュニケーションⅡ	3後			2							0
		英語コミュニケーションⅢ	4前			2					1		
		英語コミュニケーションⅣ	4後			2					1		
		小計(12科目)	－	－	8	16		0	1	0	1	0	7
専 門 科 目	基 礎 科 目	微分積分学Ⅰ	1前	○	3			2		1			
		微分積分学Ⅱ	1後	○	3			2		1			
		線形代数学Ⅰ	1前	○	3			2		0			
		線形代数学Ⅱ	1後	○	3			2		0			
		統計基礎	1前	○	2			1					
		統計	1後	○	2			2					
		確率基礎	1前	○	2			1					
		物理A(力学)	1前/1後	○	2			1					
		物理B(電磁気学)	1前/1後	○	2					1			
		代数学	2前			2		1					
		幾何学	2後			2		1					
		小計(11科目)	－	－	22	4		7	0	1	0	0	0

【令和7年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員以外を 除く（助手）
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	人文・社会・自然科学科目	哲学Ⅰ	1前			2							1
		哲学Ⅱ	1後			2							1
		社会学Ⅰ	1前			2							1
		社会学Ⅱ	1後			2							1
		心理学の基礎	1後			2							1
		法学(日本国憲法)	1後			2							1
		経済学概論	1前			2							1
		自然科学概論Ⅰ	1前			2		1					
		自然科学概論Ⅱ	1後			2		1					
		自然地理学概説Ⅰ	1前			2		1					
		自然地理学概説Ⅱ	1後			2		1					
		小計(11科目)	－	－		22		1	0	0	0	0	5
	スポーツ科学科目	スポーツ科学	1前			2							1
		小計(1科目)	－	－		2		0	0	0	0	0	1
	キャリア科目	就業体験(インターンシップ等)	1通			1		1					
		ボランティア体験	1後			1		1					
		小計(2科目)	－	－		2		1	0	0	0	0	0
英語科目		英語Ⅰ	1前		2								5
		英語Ⅱ	1後		2								5
		英語Ⅲ	2前		2								1
		英語Ⅳ	2後		2								1
		TOEIC EnglishⅠ	2前			2							1
		TOEIC EnglishⅡ	2後			2							1
		総合英語Ⅰ	3前			2							1
		総合英語Ⅱ	3後			2							1
		英語コミュニケーションⅠ	3前			2							1
		英語コミュニケーションⅡ	3後			2							1
		英語コミュニケーションⅢ	4前			2							1
		英語コミュニケーションⅣ	4後			2							1
		小計(12科目)	－	－	8	16		0	0	0	0	0	9
専門科目	基礎科目	微分積分学Ⅰ	1前	○	3			2		1			
		微分積分学Ⅱ	1後	○	3			2		1			
		線形代数学Ⅰ	1前	○	3			2		1			
		線形代数学Ⅱ	1後	○	3			2		1			
		統計基礎	1前	○	2			1					
		統計	1後	○	2			2					
		確率基礎	1前	○	2			1					
		物理A(力学)	1前/1後	○	2			1					
		物理B(電磁気学)	1前/1後	○	2					1			
		代数学	2前			2		1					
		幾何学	2後			2		1					
		小計(11科目)	－	－	22	4		7	0	2	0	0	0

【令和6年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員以外を 除く（助手）
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	人文・社会・自然科学科目	哲学Ⅰ	1前			2							1
		哲学Ⅱ	1後			2							1
		社会学Ⅰ	1前			2							1
		社会学Ⅱ	1後			2							1
		心理学の基礎	1前			2							1
		法学(日本国憲法)	1後			2							1
		経済学概論	1前			2							1
		自然科学概論Ⅰ	1前			2		1					
		自然科学概論Ⅱ	1後			2		1					
		自然地理学概説Ⅰ	1前			2		1					
		自然地理学概説Ⅱ	1後			2		1					
		小計(11科目)	－	－		22		1	0	0	0	0	5
	スポーツ科学科目	スポーツ科学	1前			2							1
		小計(1科目)	－	－		2		0	0	0	0	0	1
	キャリア科目	就業体験(インターンシップ等)	1通			1		1					
		ボランティア体験	1後			1		1					
		小計(2科目)	－	－		2		1	0	0	0	0	0
英語科目		英語Ⅰ	1前		2								7
		英語Ⅱ	1後		2								7
		英語Ⅲ	2前		2								5
		英語Ⅳ	2後		2								5
		TOEIC EnglishⅠ	2前			2							1
		TOEIC EnglishⅡ	2後			2							1
		総合英語Ⅰ	3前			2							1
		総合英語Ⅱ	3後			2							1
		英語コミュニケーションⅠ	3前			2							1
		英語コミュニケーションⅡ	3後			2							1
		英語コミュニケーションⅢ	4前			2							1
		英語コミュニケーションⅣ	4後			2							1
		小計(12科目)	－	－	8	16		0	0	0	0	0	8
専門科目	基礎科目	微分積分学Ⅰ	1前	○	3			2		1			
		微分積分学Ⅱ	1後	○	3			2		1			
		線形代数学Ⅰ	1前	○	3			2		1			
		線形代数学Ⅱ	1後	○	3			2		1			
		統計基礎	1前	○	2			1					
		統計	1後	○	2			2					
		確率基礎	1前	○	2			1					
		物理A(力学)	1前/1後	○	2			1					
		物理B(電磁気学)	1前/1後	○	2					1			
		代数学	2前			2		1					
		幾何学	2後			2		1					
		小計(11科目)	－	－	22	4		7	0	2	0	0	0

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					の 教 員 （ 助 手 を 除 く ） の 教 員 （ 助 手 を 除 く ）	
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門 科目	共通 科目	マルチメディア表現と技術Ⅰ	1前	○	2				1		0			
		マルチメディア表現と技術Ⅱ	1後	○	2			4	1		0			
		基礎データ分析	1前	○	2			2						
		プログラミングⅠ及び演習	1後	○	3			1			0			
		プログラミングⅡ及び演習	2前	○	3			2	1					
		プログラミングⅢ及び演習	2後		3			1	0					
		アルゴリズムとデータ構造	2前	○	2			1						
		コンピュータの構成	2前	○	2			1						
		情報通信ネットワークⅠ	2前	○	2			1						
		確率と統計	2前	○		2		1						
		最適化Ⅰ	2前			2		1		1				
		最適化Ⅱ	2後			2		1		1				
		人工知能入門	2後	○	2			1						
		機械学習Ⅰ	3前	○		2		1						
		機械学習Ⅱ	3後			2		1						
		オペレーティングシステム	2後	○		2		1						
		ソフトウェア工学	3前			2					0			
		データベースⅠ	3前	○	2			1			0			
		データベースⅡ	3後			2		2						
		統計的モデリング	3前	○		2		1						
		情報セキュリティ	3前	○		2		1						
		情報と職業	3前			2		1						
		アルゴリズム論	3後			2		1						
		情報システム	3後			2		1						
		プロジェクトマネジメント	3後			2							1	
		地理情報システム	3後			2		1						
		複雑系科学	3後			2		1						
		情報社会論	4前			2							1	
		ヒューマン・コンピュータ・インタラクション	4前			2			2					
		グラフィックス	4前			2		1	1				0	
		IoTとビッグデータ	4前			2		1						
		知的財産権管理	4後			2							1	
		情報倫理	4後			2							1	
小計(33科目)			－	－	22	47		13	1	1	0	0	4	
専門 科目	コン ピ ュ ー タ 工 学 コ ー ス 科 目	電気・電子回路	2前	○		2		1						
		デジタル回路	2後	○		2		1						
		コンピュータアーキテクチャ	2後	○		2		1						
		情報通信ネットワークⅡ	2後	○		2		1						
		デジタル信号処理	3前	○		2		1	0					
		組込みシステム	3後	○		2		1						
		コンピュータ工学実践演習A	3前/3後	○		3		4	0					
		コンピュータ工学実践演習B	3前/3後	○		3		2		0				
	小計(8科目)			－	－		18		6	0	0	0	0	0
	デー タ 科 学 コ ー ス 科 目	データ分析	2前	○		2		1		0				
		多変量解析	2後	○		2		1						
		時系列分析	2後	○		2		1						
		データ収集とクリーニング	2後	○		2				1				
		社会統計学Ⅰ	3前	○		2		1						
		社会統計学Ⅱ	3後	○		2		1						
データ科学実践演習A		3前/3後	○		3		3		1					
データ科学実践演習B	3前/3後	○		3		3		1						
小計(8科目)			－	－		18		6	0	2	0	0	0	
卒 業 研 究	卒業研究Ⅰ	4前	○	2			12	1	2	0				
	卒業研究Ⅱ	4後	○	2			12	1	2	0				
	小計(2科目)			－	－	4		12	1	2	0	0	0	
教 職 科 目	数学科教育法Ⅰ	2前				2			1					
	数学科教育法Ⅱ	2後				2			1					
	数学科教育法Ⅲ	3前				2			1					
	数学科教育法Ⅳ	3後				2			1					
	情報科教育法Ⅰ	3前				2	1							
	情報科教育法Ⅱ	3後				2	1							
小計(6科目)			－	－		12	1	0	1	0	0	0		
合計(94科目)			－	－	56	129	12	12	1	2	0	0	18	
卒業要件及び履修方法														
教養科目12単位以上、英語科目は必修科目8単位を含め12単位以上、専門科目は必修科目48単位を含め104単位以上を修得し、合計128単位以上修得しなければならない。「コンピュータ工学コース」では専門選択科目のうち、共通科目の確率と統計、オペレーティングシステム、機械学習Ⅰ、情報セキュリティ、およびコンピュータ工学コース科目より18単位を、「データ科学コース」では専門選択科目のうち、共通科目の確率と統計、オペレーティングシステム、機械学習Ⅰ、統計的モデリング、情報セキュリティ、およびデータ科学コース科目より18単位を、それぞれ選択必修とする。ただし、「コンピュータ工学コース」ではコンピュータ工学実践演習A及び同Bを、「データ科学コース」ではデータ科学実践演習A及び同Bを、必ず選択必修科目に含めることとする。また本人が所属するコース以外の専門選択科目を履修することは、コンピュータ工学実践演習A及び同B、そしてデータ科学実践演習A及び同Bを除き、これを妨げない。半期の履修科目登録の上限は、原則24単位以内とする。														

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					の 教 員 （ 助 手 ） （ 除 く ） （ 手 外 ）
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 科目	共通 科目	マルチメディア表現と技術Ⅰ	1前	○	2				0		1		
		マルチメディア表現と技術Ⅱ	1後	○	2			3	0		1		
		基礎データ分析	1前	○	2			2					
		プログラミングⅠ及び演習	1後	○	3			1			1		
		プログラミングⅡ及び演習	2前	○	3			1	0				
		プログラミングⅢ及び演習	2後			3			0				
		アルゴリズムとデータ構造	2前	○	2			1					
		コンピュータの構成	2前	○	2			1					
		情報通信ネットワークⅠ	2前	○	2			1					
		確率と統計	2前	○		2		1					
		最適化Ⅰ	2前			2		1		1			
		最適化Ⅱ	2後			2		1		1			
		人工知能入門	2後	○	2			1					
		機械学習Ⅰ	3前	○		2		1					
		機械学習Ⅱ	3後			2		1					
		オペレーティングシステム	2後	○		2		1					
		ソフトウェア工学	3前			2					1		
		データベースⅠ	3前	○	2			1			1		
		データベースⅡ	3後			2		2					
		統計的モデリング	3前	○		2		1					
		情報セキュリティ	3前	○		2		1					
		情報と職業	3前			2		1					
		アルゴリズム論	3後			2		1					
		情報システム	3後			2		1					
		プロジェクトマネジメント	3後			2							1
		地理情報システム	3後			2		1					
		複雑系科学	3後			2		1					
		情報社会論	4前			2							1
		ヒューマン・コンピュータ・インタラクション	4前			2		1					
		グラフィックス	4前			2		1					1
		IoTとビッグデータ	4前			2		1					
		知的財産権管理	4後			2							1
		情報倫理	4後			2							1
小計(33科目)			－	－	22	47		11	0	1	1	0	5
専門 科目	コン ピ ュ ー タ 工 学 コ ー ス 科 目	電気・電子回路	2前	○		2		1					
		デジタル回路	2後	○		2		1					
		コンピュータアーキテクチャ	2後	○		2		1					
		情報通信ネットワークⅡ	2後	○		2		1					
		デジタル信号処理	3前	○		2			0				
		組込みシステム	3後	○		2		1					
		コンピュータ工学実践演習A	3前/3後	○		3		3	0				
		コンピュータ工学実践演習B	3前/3後	○		3		2			1		
		小計(8科目)	－	－		18		5	0	0	1	0	0
	デー タ 科 学 コ ー ス 科 目	データ分析	2前	○		2		1		1			
		多変量解析	2後	○		2		1					
		時系列分析	2後	○		2		1					
		データ収集とクリーニング	2後	○		2				1			
		社会統計学Ⅰ	3前	○		2		1					
		社会統計学Ⅱ	3後	○		2		1					
		データ科学実践演習A	3前/3後	○		3		3		1			
		データ科学実践演習B	3前/3後	○		3		3		1			
小計(8科目)	－	－		18		6	0	2	0	0	0		
卒 業 研 究	卒業研究Ⅰ	4前	○	2			11	0	2	1			
	卒業研究Ⅱ	4後	○	2			11	0	2	1			
	小計(2科目)	－	－		4		11	0	2	1	0	0	
教 職 科 目	数学科教育法Ⅰ	2前				2			1				
	数学科教育法Ⅱ	2後				2			1				
	数学科教育法Ⅲ	3前				2			1				
	数学科教育法Ⅳ	3後				2			1				
	情報科教育法Ⅰ	3前				2	1						
	情報科教育法Ⅱ	3後				2	1						
小計(6科目)		－	－			12	1	0	1	0	0	0	
合計(94科目)			－	－	56	129	12	11	0	2	1	0	17
卒業要件及び履修方法													
教養科目12単位以上、英語科目は必修科目8単位を含め12単位以上、専門科目は必修科目48単位を含め104単位以上を修得し、合計128単位以上修得しなければならない。「コンピュータ工学コース」では専門選択科目のうち、共通科目の確率と統計、オペレーティングシステム、機械学習Ⅰ、情報セキュリティ、およびコンピュータ工学コース科目より18単位を、「データ科学コース」では専門選択科目のうち、共通科目の確率と統計、オペレーティングシステム、機械学習Ⅰ、統計的モデリング、情報セキュリティ、およびデータ科学コース科目より18単位を、それぞれ選択必修とする。ただし、「コンピュータ工学コース」ではコンピュータ工学実践演習A及び同Bを、「データ科学コース」ではデータ科学実践演習A及び同Bを、必ず選択必修科目に含めることとする。また本人が所属するコース以外の専門選択科目を履修することは、コンピュータ工学実践演習A及び同B、そしてデータ科学実践演習A及び同Bを除き、これを妨げない。半期の履修科目登録の上限は、原則24単位以内とする。													

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼担」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)」数は、認可時又は届出時の「兼任・兼担」数との比較において変更となっている箇所を太字の赤字としてください。
 (専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和7年度開設であれば令和6年度以前)の表は適宜削除してください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
 その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
 新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
 (例: 記載順)【認可時又は届出時】→【令和8年度】(新)→【令和7年度】(新)→【令和6年度】→【令和5年度】→【令和8年度】(旧)→【令和7年度】(旧)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・英語教育の充実を図り、「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」の基幹教員等の配置を「その他5」から「その他7」に変更。
- ・河畑則文准教授の退職に伴い、「マルチメディア表現と技術Ⅰ」「マルチメディア表現と技術Ⅱ」「プログラミングⅡ及び演習」「プログラミングⅢ及び演習」「デジタル信号処理」「コンピュータ工学実践演習A」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」の基幹教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。

【令和7年度】

- ・担当者の変更に伴い、「心理学の基礎」の開講時期を1年前期から1年後期に変更。
- ・クラス編成の変更に伴い、「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」の基幹教員等の配置を「その他7」から「その他5」に変更。
- ・クラス編成の変更に伴い、「英語Ⅲ」「英語Ⅳ」の基幹教員等の配置を「その他5」から「その他1」に変更。
- ・張江洋次朗助教の退職及び吉田一誠准教授の就任（令和6年5月教員審査受審済み）に伴い、「マルチメディア表現と技術Ⅰ」の基幹教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・張江洋次朗助教の退職及び飯田栄治教授（令和6年11月教員審査受審済み）、吉田一誠准教授（令和6年5月教員審査受審済み）の就任に伴い、「マルチメディア表現と技術Ⅱ」の基幹教員等の配置を「教授3」から「教授4」、「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・張江洋次朗助教の退職に伴い、「プログラミングⅠ及び演習」の基幹教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・飯田栄治教授（令和6年11月AC教員審査受審済み）、吉田一誠准教授（令和6年5月AC教員審査受審済み）の就任に伴い、「プログラミングⅡ及び演習」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・飯田栄治教授（令和6年11月AC教員審査受審済み）の就任に伴い、「プログラミングⅢ及び演習」の基幹教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・張江洋次朗助教の退職に伴い、「ソフトウェア工学」の基幹教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。後任未定（令和7年5月AC教員審査受審予定）
- ・張江洋次朗助教の退職に伴い、「データベースⅠ」の基幹教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・飯田栄治教授（令和6年11月AC教員審査受審済み）の就任に伴い、「ヒューマンコンピュータインタラクション」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・吉田一誠准教授（令和6年5月AC教員審査受審済み）の就任に伴い、「グラフィックス」の基幹教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「その他1」から「その他0」に変更。
- ・飯田栄治教授（令和6年11月AC教員審査受審済み）の就任に伴い、「デジタル信号処理」の基幹教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・飯田栄治教授（令和6年11月AC教員審査受審済み）の就任に伴い、「コンピュータ工学実践演習A」の基幹教員等の配置を「教授3」から「教授4」に変更。
- ・担当科目の調整により、「データ分析」の基幹教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
- ・張江洋次朗助教の退職及び飯田栄治教授（令和6年11月教員審査受審済み）、吉田一誠准教授（令和6年5月教員審査受審済み）の就任に伴い、「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」の基幹教員等の配置を「教授11」から「教授12」、「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」に変更。

【令和8年度】

- ・サハルジャヴィド准教授の就任に伴い、「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」の基幹教員等の配置を「その他1」から「准教授1」に変更（令和8年2月AC教員審査受審済み）。
- ・グラッシリチャードその他講師の退職に伴い、「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」の基幹教員等の配置を「その他1」から「その他0」に変更。（AC教員審査受審中。）
- ・バタライクリスナプラサド助教の就任に伴い、「英語コミュニケーションⅢ」「英語コミュニケーションⅣ」の基幹教員等の配置を「その他1」から「助教1」に変更。（令和8年2月AC教員審査受審済み。）
- ・小形優人講師の退職に伴い、「線形代数学Ⅰ」「線形代数学Ⅱ」の基幹教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
- ・チアジェンリン助教の就任に伴う担当教員追加のため「マルチメディア表現と技術Ⅰ」の基幹教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。（令和7年8月AC教員審査受審済み。）
- ・陶涛講師とチアジェンリン助教の就任に伴う担当者調整のため「マルチメディア表現と技術Ⅱ」の基幹教員等の配置を「教授4」「准教授1」から「教授3」「講師1」「助教1」に変更。（令和7年8月および令和8年2月AC教員審査受審済み。）
- ・チアジェンリン助教の就任に伴う担当教員追加のため「プログラミングⅠ及び演習」の基幹教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。（令和7年8月AC教員審査受審済み。）
- ・サハルジャヴィド准教授と陶涛講師就任に伴う担当教員調整のため「プログラミングⅡ及び演習」の基幹教員等の配置を「教授2」、「准教授1」から「教授1」、「准教授2」、「講師1」に変更。（令和7年8月及び令和8年2月AC教員審査受審済み。）
- ・サハルジャヴィド准教授と陶涛講師就任に伴う担当教員調整のため「プログラミングⅢ及び演習」の基幹教員等の配置を「教授1」から「准教授1」、「講師1」に変更。（令和7年8月及び令和8年2月AC教員審査受審済み。）
- ・チアジェンリン助教の就任に伴い、「ソフトウェア工学」の基幹教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。（令和7年8月AC教員審査受審済み。）
- ・バタライクリスナプラサド助教の就任に伴う担当教員追加のため「データベースⅠ」の基幹教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。（令和7年8月AC教員審査受審済み。）
- ・バタライクリスナプラサド助教の就任に伴う担当教員追加のため「データベースⅡ」の基幹教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。（令和7年8月AC教員審査受審済み。）
- ・バタライクリスナプラサド助教の就任に伴う担当教員変更のため「情報システム」の基幹教員等の配置を「教授1」から「助教1」に変更。（令和7年8月AC教員審査受審済み。）
- ・担当者変更に伴い「プロジェクトマネジメント」の基幹教員等の配置を「その他1」から「教授1」に変更。（令和8年2月AC教員審査受審済み。）
- ・教育効果の向上を図り、「情報社会論」の開講時期を4年前期から3年前期に変更。
- ・陶涛講師の就任に伴う担当者変更のため「デジタル信号処理」の基幹教員等の配置を「教授1」から「講師1」に変更。（令和8年2月AC教員審査受審済み。）
- ・サハルジャヴィド准教授と陶涛講師の就任に伴う担当者調整のため「コンピュータ工学実践演習A」の基幹教員等の配置を「教授4」から「教授2」「准教授1」「講師1」に変更。（令和7年8月及び令和8年2月AC教員審査受審済み。）
- ・チアジェンリン助教とバタライクリスナプラサド助教の就任に伴う担当者調整のため「コンピュータ工学実践演習B」の基幹教員等の配置を「助教0」から「助教2」に変更。（令和7年8月AC教員審査受審済み。）
- ・科目担当の調整のため、「データ分析」の基幹教員等の配置を「教授1」から「講師1」に変更。
- ・科目担当の調整のため、「データ科学実践演習A」の基幹教員等の配置を「教授3」「講師1」から「教授1」「講師1」に変更。
- ・科目担当の調整のため、「データ科学実践演習A」の基幹教員等の配置を「教授3」「講師1」から「教授2」に変更。
- ・小形優人講師の退職及びジャヴィドサハル准教授、陶涛講師、チアジェンリン助教、バタライクリスナプラサド助教の就任に伴い「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」の基幹教員等の配置を「教授12」「准教授1」「講師2」から「教授12」「准教授2」「講師2」「助教2」に変更。
- ・小形優人講師の退職に伴い、「数学科教育法Ⅰ」「数学科教育法Ⅱ」「数学科教育法Ⅲ」「数学科教育法Ⅳ」の基幹教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。AC教員審査受審中。「数学科教育法Ⅰ」「数学科教育法Ⅲ」については、審査後に開講予定。

- (注)・ 2 (1) -① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
- 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和 4 年10月 1 日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授 1 」から「基幹教員 教授 1 」に変更）や、兼任・兼担教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員 1 」から「基幹教員以外の教員 1 」に変更）については、記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和 7 年度開設であれば令和 6 年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ 1 つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
25 科目	63 科目	6 科目	94 科目	25 科目 [0]	63 科目 [0]	6 科目 [0]	94 科目 [0]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1 科目減の場合：△1）
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{94} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	◆共用する他の学校：金沢学院短期大学（必要面積：3,200㎡） ◆校舎敷地（共用）借用面積：18,227㎡借用期間25年 ◆その他（共用）借用面積：659㎡借用期間21年、919㎡借用期間20年			
	校 舎 敷 地	35,590㎡	93,122㎡	0㎡	128,712㎡				
	そ の 他	31,610㎡	12,826㎡	0㎡	44,436㎡				
	合 計	67,200㎡	105,948㎡	0㎡	173,148㎡				
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	金沢学院短期大学と共用（必要面積：4,350㎡）			
		(16,341㎡)	(24,141㎡)	(437㎡)	(40,919㎡)				
(3)教室・教員研究室		教 室	122室	教員研究室	19 150室	教室は大学全体（一部、金沢学院短期大学と併用） 大学全体から学部単体の数に変更（8）			
(4)図書・設備	新設学部等の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具	標本	図書は購入及び処分等による変更（8） 電子ジャーナルは論文数で記載していたものを訂正（8） 機械・器具、標本は大学全体	
		〔うち外国書〕冊	電子図書〔うち外国書〕	〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕				
	情報工学部	48,771 [11,747] 239,078 [35,223] 48,771 [11,747] -(232,361 [34,770])	156 [0] 673 [0] 156 [0] -(568 [0])	7 [0] 1,060 [252] 7 [0] -(1,058 [250])	48 [48] 240 [233] 48 [48] -(239 [232])	7,725 (7,708)	74 (74)		
	計	48,771 [11,747] 239,078 [35,223] 48,771 [11,747] -(232,361 [34,770])	156 [0] 673 [0] 156 [0] -(568 [0])	7 [0] 1,060 [252] 7 [0] -(1,058 [250])	48 [48] 240 [233] 48 [48] -(239 [232])	7,725 (7,708)	74 (74)		
(5)スポーツ施設等		スポーツ施設		講堂	厚生補導施設		図書は大学及び短期大学全体での共用分を含む（学部単位での特定不能のため、大学・短期大学全体の数。） スポーツ施設等も大学全体		
		49,892㎡		0㎡	10,210㎡				
(6)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	教員1人当り研究費等と共同研究費等は大学全体 （図書購入費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コストを含む）を含む。）
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	10,000千円	1,500千円	1,500千円	
		共同研究費等	900千円	900千円	設備購入費	350,000千円	0千円	0千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,600千円	1,400千円	1,400千円	1,400千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		資産運用収入、雑収入等						

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）又は（その1の3）に準じて作成してください。
（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（8）」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 高等専門学校については「（3）教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
 - ・ 国立大学については「（6）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称		金 沢 学 院 大 学									収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所在地	備 考			
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度					
情報工学部	4	100	0	400	-	0.46	-	-	令和6	-	石川県金沢市末町１０の５番地			
情報工学科	4	100	0	400	学士 (工学)	0.46	-	-	令和6					
経済学部	4	230	3年次 10	940	-	0.94	-	-	令和2	-	令和８年度から入学定員変更（160→140） 令和６年度から入学定員変更（70→90） 令和８年度より入学定員変更（180→170） 令和８年度より入学定員変更（60→55） 令和８年度より入学定員変更（50→45）			
経済学科	4	140	3年次 5	570	学士 (経済学)	0.86	-	-	令和2	同上				
経営学科	4	90	3年次 5	370	学士 (経営学)	1.08	-	-	令和2	同上				
文学部	4	170	3年次 8	696	-	0.92	-	-	平成27	-				
文学科	4	170	3年次 8	696	学士 (文学)	0.92	-	-	平成27	同上				
日本文学専攻	4	55	(便宜上) 4	228	学士 (文学)	0.85	-	-	平成27	同上				
英米文学専攻	4	30	0	120	学士 (文学)	0.43	-	-	平成27	同上				
歴史学・考古学専攻	4	45	(便宜上) 4	188	学士 (文学)	1.07	-	-	平成27	同上				
心理学専攻	4	40	0	160	学士 (文学)	1.22	-	-	平成27	同上				
教育学部	4	70	3年次 5	290	-	0.92	-	-	令和4	-	令和５年度から入学定員変更（70→80） 令和５年度から編入学定員変更（2→7）			
教育学科	4	70	3年次 5	290	学士 (教育学)	0.92	-	-	令和4	同上				
芸術学部	4	80	3年次 7	334	-	0.91	-	令和5	平成28	-				
芸術学科	4	80	3年次 7	334	学士 (芸術学)	0.91	-	令和5	平成28	同上				
栄養学部	4	80	3年次 5	330	-	0.97	-	-	令和3	-				
栄養学科	4	80	3年次 5	330	学士 (栄養学)	0.97	-	-	令和3	同上				
スポーツ科学部	4	180	3年次 10	740	-	1.11	-	-	令和3	-				
スポーツ科学科	4	180	3年次 10	740	学士 (スポーツ科学)	1.11	-	-	令和3	同上				
経済情報学部	4	-	-	-	-	-	-	-	令和2	-	令和６年度より学生募集停止			
経済情報学科	4	-	-	-	学士 (経済情報学)	-	-	-	令和2	同上				
大学全体	4	910	3年次 45	3730	-	-	-	-	-	-				

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度 A C の対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和9年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
 - ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の**学科**については、**必ず太字にしてください**。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますので参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<情報工学部 情報工学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	教授	高木 直史 (65) ＜令和6年4月＞ 工学博士
		代数学 コンピュータの構成 電気・電子回路 デジタル回路 コンピュータアーキテクチャ 組み込みシステム コンピュータ工学実践演習A 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
基 (主 専)	教授	石川 温 (59) ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		統計基礎 統計 物理A（力学） 基礎データ分析 社会統計学Ⅰ 社会統計学Ⅱ データ科学実践演習B 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
基 (主 専)	教授	岩岡 浩一郎 (55) ＜令和6年4月＞ 博士（数理科学）
		基礎データ分析 プログラミングⅠ及び演習 アルゴリズムとデータ構造 アルゴリズム論 IoTとビッグデータ コンピュータ工学実践演習B 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
基 (主 専)	教授	加須栄 篤 (69) ＜令和6年4月＞ 理学博士
		線形代数学Ⅰ 線形代数学Ⅱ 幾何学 グラフィックス※ コンピュータ工学実践演習A 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
基 (主 専)	教授	桑野 裕昭 (57) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		確率基礎 マルチメディア表現と技術Ⅱ※ 確率と統計 最適化Ⅰ※ 最適化Ⅱ※ データ科学実践演習B 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

【令和6年度】

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	教授	高木 直史 (65) ＜令和6年4月＞ 工学博士
		代数学 コンピュータの構成 電気・電子回路 デジタル回路 コンピュータアーキテクチャ 組み込みシステム コンピュータ工学実践演習A 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
基 (主 専)	教授	石川 温 (59) ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		統計基礎 統計 物理A（力学） 基礎データ分析 社会統計学Ⅰ 社会統計学Ⅱ データ科学実践演習B 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
基 (主 専)	教授	岩岡 浩一郎 (55) ＜令和6年4月＞ 博士（数理科学）
		基礎データ分析 プログラミングⅠ及び演習 アルゴリズムとデータ構造 アルゴリズム論 IoTとビッグデータ コンピュータ工学実践演習B 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
基 (主 専)	教授	加須栄 篤 (69) ＜令和6年4月＞ 理学博士
		線形代数学Ⅰ 線形代数学Ⅱ 幾何学 グラフィックス※ コンピュータ工学実践演習A 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
基 (主 専)	教授	桑野 裕昭 (57) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		確率基礎 マルチメディア表現と技術Ⅱ※ 確率と統計 最適化Ⅰ※ 最適化Ⅱ※ データ科学実践演習B 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

【令和7年度】

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	教授	高木 直史 (66) ＜令和6年4月＞ 工学博士
		代数学 コンピュータの構成 電気・電子回路 デジタル回路 コンピュータアーキテクチャ 組み込みシステム コンピュータ工学実践演習A 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
基 (主 専)	教授	石川 温 (60) ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		統計基礎 統計 物理A（力学） 基礎データ分析 社会統計学Ⅰ 社会統計学Ⅱ データ科学実践演習B 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
基 (主 専)	教授	岩岡 浩一郎 (56) ＜令和6年4月＞ 博士（数理科学）
		基礎データ分析 プログラミングⅠ及び演習 アルゴリズムとデータ構造 アルゴリズム論 IoTとビッグデータ コンピュータ工学実践演習B 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
基 (主 専)	教授	加須栄 篤 (70) ＜令和6年4月＞ 理学博士
		線形代数学Ⅰ 線形代数学Ⅱ 幾何学 グラフィックス※ コンピュータ工学実践演習A 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
基 (主 専)	教授	桑野 裕昭 (58) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		確率基礎 マルチメディア表現と技術Ⅱ※ 確率と統計 最適化Ⅰ※ 最適化Ⅱ※ データ科学実践演習B 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

【令和8年度】

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	教授	高木 直史 (67) ＜令和6年4月＞ 工学博士
		代数学 マルチメディア表現と技術Ⅱ※ コンピュータの構成 電気・電子回路 デジタル回路 コンピュータアーキテクチャ 組み込みシステム コンピュータ工学実践演習A 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
基 (主 専)	教授	石川 温 (61) ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		統計基礎 統計 物理A（力学） 基礎データ分析 社会統計学Ⅰ 社会統計学Ⅱ データ科学実践演習B 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
基 (主 専)	教授	岩岡 浩一郎 (57) ＜令和6年4月＞ 博士（数理科学）
		基礎データ分析 プログラミングⅠ及び演習 アルゴリズムとデータ構造 情報と職業 アルゴリズム論 プロジェクトマネジメント IoTとビッグデータ コンピュータ工学実践演習B 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
基 (主 専)	教授	加須栄 篤 (71) ＜令和6年4月＞ 理学博士
		線形代数学Ⅰ 線形代数学Ⅱ 幾何学 グラフィックス※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
基 (主 専)	教授	桑野 裕昭 (59) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		確率基礎 マルチメディア表現と技術Ⅱ※ 確率と統計 最適化Ⅰ 最適化Ⅱ データ科学実践演習B 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
基 （主 専）	教授	佐々木 圭一 (53) ＜令和6年4月＞ 博士(理学)	基 （主 専）	教授	佐々木 圭一 (53) ＜令和6年4月＞ 博士(理学)	基 （主 専）	教授	佐々木 圭一 (54) ＜令和6年4月＞ 博士(理学)	基 （主 専）	教授	佐々木 圭一 (55) ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		自然科学概論Ⅰ 自然科学概論Ⅱ 自然地理学概説Ⅰ 自然地理学概説Ⅱ 就業体験（インターンシップ等） ボランティア体験 地理情報システム データ科学実践演習A 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			自然科学概論Ⅰ 自然科学概論Ⅱ 自然地理学概説Ⅰ 自然地理学概説Ⅱ 就業体験（インターンシップ等） ボランティア体験 地理情報システム データ科学実践演習A 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			自然科学概論Ⅰ 自然科学概論Ⅱ 自然地理学概説Ⅰ 自然地理学概説Ⅱ 就業体験（インターンシップ等） ボランティア体験 地理情報システム データ科学実践演習A 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			自然科学概論Ⅰ 自然科学概論Ⅱ 自然地理学概説Ⅰ 自然地理学概説Ⅱ 就業体験（インターンシップ等） ボランティア体験 地理情報システム 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
基 （主 専）	教授	田中 美栄子 (73) ＜令和6年4月＞ Doctor of Phylosophy in Physics(米国)	基 （主 専）	教授	田中 美栄子 (73) ＜令和6年4月＞ Doctor of Phylosophy in Physics(米国)	基 （主 専）	教授	田中 美栄子 (74) ＜令和6年4月＞ Doctor of Phylosophy in Physics(米国)	基 （主 専）	教授	田中 美栄子 (75) ＜令和6年4月＞ Doctor of Phylosophy in Physics(米国)
		微分積分学Ⅰ 微分積分学Ⅱ 線形代数学Ⅰ 線形代数学Ⅱ 複雑系科学 データ科学実践演習B 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			微分積分学Ⅰ 微分積分学Ⅱ 線形代数学Ⅰ 線形代数学Ⅱ 複雑系科学 データ科学実践演習B 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			微分積分学Ⅰ 微分積分学Ⅱ 線形代数学Ⅰ 線形代数学Ⅱ 複雑系科学 データ科学実践演習B 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			微分積分学Ⅰ 微分積分学Ⅱ 線形代数学Ⅰ 線形代数学Ⅱ 統計的モデリング 複雑系科学 多変量解析 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
基 （主 専）	教授	田中 良巳 (52) ＜令和6年4月＞ 博士（人間・環境学）	基 （主 専）	教授	田中 良巳 (52) ＜令和6年4月＞ 博士（人間・環境学）	基 （主 専）	教授	田中 良巳 (53) ＜令和6年4月＞ 博士（人間・環境学）	基 （主 専）	教授	田中 良巳 (54) ＜令和6年4月＞ 博士（人間・環境学）
		微分積分学Ⅰ 微分積分学Ⅱ マルチメディア表現と技術Ⅱ※ 統計的モデリング 多変量解析 データ科学実践演習A 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			微分積分学Ⅰ 微分積分学Ⅱ マルチメディア表現と技術Ⅱ※ 統計的モデリング 多変量解析 データ科学実践演習A 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			微分積分学Ⅰ 微分積分学Ⅱ マルチメディア表現と技術Ⅱ※ 統計的モデリング 多変量解析 データ科学実践演習A 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			微分積分学Ⅰ 微分積分学Ⅱ マルチメディア表現と技術Ⅱ※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
									基 （主 専）	教授	寺岡 文男 (66) ＜令和8年4月＞ 博士（工学）
											情報通信ネットワークⅠ オペレーティングシステム 情報セキュリティ 情報通信ネットワークⅡ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
基 （主 専）	教授	藤本 祥二 (50) ＜令和6年4月＞ 博士(理学)	基 （主 専）	教授	藤本 祥二 (50) ＜令和6年4月＞ 博士(理学)	基 （主 専）	教授	藤本 祥二 (51) ＜令和6年4月＞ 博士(理学)	基 （主 専）	教授	藤本 祥二 (52) ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		統計 機械学習Ⅰ 機械学習Ⅱ データベースⅡ※ データ分析 時系列分析 データ科学実践演習A 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 情報科教育法Ⅰ 情報科教育法Ⅱ			統計 機械学習Ⅰ 機械学習Ⅱ データベースⅡ※ データ分析 時系列分析 データ科学実践演習A 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 情報科教育法Ⅰ 情報科教育法Ⅱ			統計 機械学習Ⅰ 機械学習Ⅱ データベースⅡ※ データ分析 時系列分析 データ科学実践演習A 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 情報科教育法Ⅰ 情報科教育法Ⅱ			統計 機械学習Ⅰ 機械学習Ⅱ データベースⅡ※ 時系列分析 データ科学実践演習A 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 情報科教育法Ⅰ 情報科教育法Ⅱ

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
基 （主 専）	教授	松田 聡浩 (56) ＜令和6年4月＞ 博士(工学)	基 （主 専）	教授	松田 聡浩 (56) ＜令和6年4月＞ 博士(工学)	基 （主 専）	教授	松田 聡浩 (57) ＜令和6年4月＞ 博士(工学)	基 （主 専）	教授	松田 聡浩 (58) ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		マルチメディア表現と技術Ⅱ※ プログラミングⅡ及び演習 人工知能入門 オペレーティングシステム 情報と職業 ヒューマン・コンピュータ・インタラクション コンピュータ工学実践演習A 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			マルチメディア表現と技術Ⅱ※ プログラミングⅡ及び演習 人工知能入門 オペレーティングシステム 情報と職業 ヒューマン・コンピュータ・インタラクション コンピュータ工学実践演習A 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			マルチメディア表現と技術Ⅱ※ プログラミングⅡ及び演習 人工知能入門 オペレーティングシステム 情報と職業 ヒューマン・コンピュータ・インタラクション コンピュータ工学実践演習A 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			プログラミングⅡ及び演習 人工知能入門 ヒューマン・コンピュータ・インタラクション 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
基 （主 専）	准教授	河畑 則文 (35) ＜令和6年4月＞ 博士(情報科学)							基 （主 専）		
		マルチメディア表現と技術Ⅰ マルチメディア表現と技術Ⅱ※ プログラミングⅡ及び演習 プログラミングⅢ及び演習 デジタル信号処理 コンピュータ工学実践演習A 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ									
									基 （主 専）	准教授	サハル ジャヴィド (42) ＜令和7年9月＞ 博士(情報科学)
											総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ プログラミングⅡ及び演習 プログラミングⅢ及び演習 コンピュータ工学実践演習A 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
基 （主 専）	講師	小形 優人 (32) ＜令和6年4月＞ 博士(理学)	基 （主 専）	講師	小形 優人 (32) ＜令和6年4月＞ 博士(理学)	基 （主 専）	講師	小形 優人 (33) ＜令和6年4月＞ 博士(理学)			
		線形代数学Ⅰ 線形代数学Ⅱ 最適化Ⅰ※ 最適化Ⅱ※ データ科学実践演習B 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 数学科教育法Ⅰ 数学科教育法Ⅱ 数学科教育法Ⅲ 数学科教育法Ⅳ			線形代数学Ⅰ 線形代数学Ⅱ 最適化Ⅰ※ 最適化Ⅱ※ データ科学実践演習B 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 数学科教育法Ⅰ 数学科教育法Ⅱ 数学科教育法Ⅲ 数学科教育法Ⅳ			線形代数学Ⅰ 線形代数学Ⅱ 最適化Ⅰ※ 最適化Ⅱ※ データ科学実践演習B 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 数学科教育法Ⅰ 数学科教育法Ⅱ 数学科教育法Ⅲ 数学科教育法Ⅳ			
基 （主 専）	講師	後藤 弘光 (33) ＜令和6年4月＞ 博士(理学)	基 （主 専）	講師	後藤 弘光 (33) ＜令和6年4月＞ 博士(理学)	基 （主 専）	講師	後藤 弘光 (34) ＜令和6年4月＞ 博士(理学)	基 （主 専）	講師	後藤 弘光 (35) ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		微分積分学Ⅰ 微分積分学Ⅱ 物理B（電磁気学） データ分析 データ収集とクリーニング データ科学実践演習A 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			微分積分学Ⅰ 微分積分学Ⅱ 物理B（電磁気学） データ分析 データ収集とクリーニング データ科学実践演習A 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			微分積分学Ⅰ 微分積分学Ⅱ 物理B（電磁気学） データ収集とクリーニング データ科学実践演習A 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			微分積分学Ⅰ 微分積分学Ⅱ 物理B（電磁気学） データ分析 データ収集とクリーニング データ科学実践演習A 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
									基 （主 専）	講師	陶 涛 (36) ＜令和8年4月＞ 博士（情報工学）
											マルチメディア表現と技術Ⅱ※ プログラミングⅡ及び演習 プログラミングⅢ及び演習 デジタル信号処理 コンピュータ工学実践演習A 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名			
							基 (主 専)	助教	チア ジェン リン (33) ＜令和7年9月＞ 博士(工学)
									マルチメディア表現と技術Ⅰ マルチメディア表現と技術Ⅱ※ プログラミングⅠ及び演習 ソフトウェア工学 コンピュータ工学実践演習B 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
							基 (主 専)	助教	パタライ クリсна プラサド (36) ＜令和7年9月＞ 修士(工学)
									英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ データベースⅠ データベースⅡ※ 情報システム コンピュータ工学実践演習B 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
基 (主 専)	助教	張江 洋次朗 (32) ＜令和6年4月＞ 修士(工学)	基 (主 専)	助教	張江 洋次朗 (32) ＜令和6年4月＞ 修士(工学)				
		マルチメディア表現と技術Ⅰ マルチメディア表現と技術Ⅱ※ プログラミングⅠ及び演習 ソフトウェア工学 データベースⅠ コンピュータ工学実践演習B 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			マルチメディア表現と技術Ⅰ マルチメディア表現と技術Ⅱ※ プログラミングⅠ及び演習 ソフトウェア工学 データベースⅠ コンピュータ工学実践演習B 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ				
							基 (他)	教授	飯田 栄治 (64) ＜令和7年4月＞ 博士(情報科学)
									プログラミングⅡ及び演習 プログラミングⅢ及び演習 人工知能入門 オペレーティングシステム ヒューマンコンピュータインタラクション デジタル信号処理 コンピュータ工学実践演習A 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
基 (主 専)	教授	ゴータム ビスヌ プラサド (52) ＜令和6年4月＞ 博士(工学)	基 (主 専)	教授	ゴータム ビスヌ プラサド (52) ＜令和6年4月＞ 博士(工学)		基 (他)	教授	ゴータム ビスヌ プラサド (53) ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		情報通信ネットワークⅠ データベースⅠ データベースⅡ※ 情報セキュリティ 情報システム 情報通信ネットワークⅡ コンピュータ工学実践演習B 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			情報通信ネットワークⅠ データベースⅠ データベースⅡ※ 情報セキュリティ 情報システム 情報通信ネットワークⅡ コンピュータ工学実践演習B 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ				情報通信ネットワークⅠ データベースⅠ データベースⅡ※ 情報セキュリティ 情報システム 情報通信ネットワークⅡ コンピュータ工学実践演習B 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
							基 (他)	准教授	吉田 一誠 (46) ＜令和6年9月＞ MA (Fine Art) MA (Digital Media) (英国)
									マルチメディア表現と技術Ⅰ マルチメディア表現と技術Ⅱ※ プログラミングⅡ及び演習 グラフィックス※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	笠間 弘美 (64) ＜令和6年4月＞ MATESL（米国）
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ
その他	教授	中崎 崇志 (53) ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		心理学の基礎
その他	教授	坂東 貴夫 (50) ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		TOEIC EnglishⅠ TOEIC EnglishⅡ
その他	准教授	小西 尚之 (51) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※
		社会学Ⅰ 社会学Ⅱ
その他	准教授	中村 直行 (59) ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		哲学Ⅰ 哲学Ⅱ 情報倫理
その他	准教授	藤居 真路 (61) ＜令和6年4月＞ 博士（教育学）
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ
その他	准教授	吉田 一誠 (46) ＜令和6年4月＞ MA（Fine Art） MA（Digital Media）（英国）
		グラフィックス※

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	笠間 弘美 (64) ＜令和6年4月＞ MATESL（米国）
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ TOEIC EnglishⅠ TOEIC EnglishⅡ
その他	教授	中崎 崇志 (53) ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		心理学の基礎
その他	准教授	小西 尚之 (51) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※
		社会学Ⅰ 社会学Ⅱ
その他	准教授	中村 直行 (59) ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		哲学Ⅰ 哲学Ⅱ 情報倫理
その他	准教授	松村 祐香里 (33) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ
その他	准教授	吉田 一誠 (46) ＜令和6年4月＞ MA（Fine Art） MA（Digital Media）（英国）
		グラフィックス※

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	笠間 弘美 (65) ＜令和6年4月＞ MATESL（米国）
		英語Ⅰ 英語Ⅱ
その他	教授	鈴木 賢男 (62) ＜令和7年4月＞ 教育学修士
		心理学の基礎
その他	准教授	小西 尚之 (52) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※
		社会学Ⅰ 社会学Ⅱ
その他	准教授	中村 直行 (60) ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		情報倫理

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	笠間 弘美 (66) ＜令和6年4月＞ MATESL（米国）
		英語Ⅰ 英語Ⅱ
その他	教授	鈴木 賢男 (63) ＜令和7年4月＞ 教育学修士
		心理学の基礎
その他	教授	根本 博 (77) ＜令和8年4月＞ 学士（経済学）
		経済学概論
その他	教授	松本 和彦 (65) ＜令和8年4月＞ 修士（法学）
		法学（日本国憲法） 知的財産権管理
その他	准教授	小西 尚之 (53) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※
		社会学Ⅰ 社会学Ⅱ
その他	准教授	中村 直行 (61) ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		情報倫理

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	菊政 俊平 (31) ＜令和6年4月＞ 博士（体育科学）
		スポーツ科学
その他	講師	グラッシ リチャード (64) ＜令和6年4月＞ Doctor of Humanities (コスタリカ)
		英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ
その他	講師	小林 花代 (59) ＜令和6年4月＞ 文学士
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ
その他	講師	嶋村 貢志 (44) ＜令和6年4月＞ Ph.D. in Linguistics (米国)
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ
その他	講師	高他 毅 (64) ＜令和6年4月＞ 文学士
		情報社会論
その他	講師	武村 敏幸 (70) ＜令和6年4月＞ 法学修士
		法学（日本国憲法） 知的財産権管理

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	板垣 真任 (33) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ
その他	助教	太田 康介 (41) ＜令和6年4月＞ 修士（スポーツ健康学）
		スポーツ科学
その他	講師	グラッシ リチャード (64) ＜令和6年4月＞ Doctor of Humanities (コスタリカ)
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ
その他	講師	小林 花代 (59) ＜令和6年4月＞ 文学士
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ
その他	講師	高他 毅 (64) ＜令和6年4月＞ 文学士
		情報社会論
その他	講師	鳥谷部 智規 (29) ＜令和6年4月＞ 修士（経済学）
		経済学概論
その他	講師	野寺 巧寛 (34) ＜令和6年4月＞ 修士（法学）
		法学（日本国憲法） 知的財産権管理

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	板垣 真任 (34) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		英語Ⅰ 英語Ⅱ
その他	講師	小川 慶太 (52) ＜令和7年4月＞ 学士（法学）
		英語Ⅰ 英語Ⅱ
その他	講師	太田 康介 (42) ＜令和6年4月＞ 修士（スポーツ健康学）
		スポーツ科学
その他	講師	グラッシ リチャード (65) ＜令和6年4月＞ Doctor of Humanities (コスタリカ)
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ
その他	講師	小林 花代 (60) ＜令和6年4月＞ 文学士
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ
その他	講師	高他 毅 (65) ＜令和6年4月＞ 文学士
		情報社会論
その他	講師	鳥谷部 智規 (30) ＜令和6年4月＞ 修士（経済学）
		経済学概論
その他	講師	野寺 巧寛 (35) ＜令和6年4月＞ 修士（法学）
		法学（日本国憲法） 知的財産権管理

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	板垣 真任 (35) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		英語Ⅰ 英語Ⅱ
その他	講師	小川 慶太 (53) ＜令和7年4月＞ 学士（法学）
		英語Ⅰ 英語Ⅱ
その他	講師	栗原 聡 (61) ＜令和8年4月＞ 博士（工学）
		情報社会論

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
その他	講師	平方 裕久 (42) ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）									
		経済学概論									
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ									
						その他	講師	ブラッド ウィンフィールド (45) ＜令和7年4月＞ BA (Graphic Design) (英国)	その他	講師	ブラッド ウィンフィールド (46) ＜令和7年4月＞ BA (Graphic Design) (英国)
								英語Ⅲ 英語Ⅳ			英語Ⅲ 英語Ⅳ
			その他	講師	孫工 季也 (31) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）						
					英語Ⅰ 英語Ⅱ						
						その他	講師	水橋 雄介 (36) ＜令和7年4月＞ 博士（人間科学）	その他	講師	水橋 雄介 (37) ＜令和7年4月＞ 博士（人間科学）
								哲学Ⅰ 哲学Ⅱ			哲学Ⅰ 哲学Ⅱ
その他	講師	宮地 浩子 (60) ＜令和6年4月＞ 文学士	その他	講師	宮地 浩子 (60) ＜令和6年4月＞ 文学士	その他	講師	宮地 浩子 (61) ＜令和6年4月＞ 文学士			
		プロジェクトマネジメント			プロジェクトマネジメント			プロジェクトマネジメント			
その他	講師	安田 寛子 (68) ＜令和6年4月＞ Master of Arts (米国)	その他	講師	安田 寛子 (68) ＜令和6年4月＞ Master of Arts (米国)	その他	講師	安田 寛子 (69) ＜令和6年4月＞ Master of Arts (米国)	その他	講師	安田 寛子 (70) ＜令和6年4月＞ Master of Arts (米国)
		英語Ⅰ			英語Ⅰ			英語Ⅰ			英語Ⅰ
		英語Ⅱ			英語Ⅱ			英語Ⅱ			英語Ⅱ
		英語Ⅲ 英語Ⅳ			英語Ⅲ 英語Ⅳ						
その他	講師	吉本 恵律子 (68) ＜令和6年4月＞ 文学士	その他	講師	吉本 恵律子 (68) ＜令和6年4月＞ 文学士	その他	講師	吉本 恵律子 (69) ＜令和6年4月＞ 文学士	その他	講師	吉本 恵律子 (70) ＜令和6年4月＞ 文学士
		英語Ⅰ			英語Ⅰ			英語Ⅰ			英語Ⅰ
		英語Ⅱ			英語Ⅱ			英語Ⅱ			英語Ⅱ
		英語Ⅲ 英語Ⅳ			英語Ⅲ 英語Ⅳ						
						その他	講師	四柳 千佳子 (47) ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）	その他	講師	四柳 千佳子 (48) ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）
								TOEIC EnglishⅠ TOEIC EnglishⅡ			TOEIC EnglishⅠ TOEIC EnglishⅡ
									その他	助教	松橋 和希 (28) ＜令和8年4月＞ 修士（スポーツ健康学）
											スポーツ科学

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

- 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）（その2の2）（その2の3）に準じて作成してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等（令和4年10月1日施行）の適用以前については改正前様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
- 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（基幹教員（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」）以外の教員（助手を除く）（改正後大学設置基準等の適用以前は兼任）その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
- 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- 記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」（改正後大学設置基準等の適用以前は「専任等区分」）の順に記入してください
- 改正後大学設置基準等（令和4年10月1日施行）の適用以降については、主要授業科目にあたる「担当授業科目名」に下線を引いてください。（大学院、高等専門学校は除く）
- 教員がサバティカル等で不在の期間がある場合、その期間（年月日）を上段「学位」の下へ記入してください。
- 不要な年度（令和7年度開設であれば令和6年度以前）の表は適宜削除してください。
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目名を記入してください。

(1) ー②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・河畑則文准教授の退職に伴い、担当科目については以下のように対応する。
「マルチメディア表現と技術Ⅰ」「マルチメディア表現と技術Ⅱ」「プログラミングⅡ及び演習」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」後任についてAC教員審査受審中。
「プログラミングⅢ及び演習」「デジタル信号処理」「コンピュータ工学実践演習A」後任について来年度AC教員審査受審予定。
- ・坂東貴夫その他教授の退職に伴い、担当科目「TOEIC EnglishⅠ」「TOEIC EnglishⅡ」を笠間弘美その他教授の担当に変更。
- ・藤居真路その他准教授の退職に伴い、担当科目「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」「英語Ⅲ」「英語Ⅳ」を松村祐香里その他准教授の担当に変更。
- ・嶋村貢志その他講師の退職に伴い、担当科目「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」「英語Ⅲ」「英語Ⅳ」を板垣真任その他講師の担当に変更。
- ・武村敏幸その他講師の退職に伴い、担当科目「法学（日本国憲法）」「知的財産管理」を野寺巧寛その他講師の担当に変更。
- ・平方裕久その他講師退職に伴い、担当科目「経済学概論」を鳥谷部智規その他講師、「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」をグラッシ・リチャードその他講師の担当に変更。
- ・科目担当調整のため菊政俊平その他講師の担当科目「スポーツ科学」を太田康介その他助教の担当に変更。
- ・英語教育の充実を図り、小林花代その他講師及び孫工季也その他講師の担当に「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」を追加。

【令和7年度】

- ・張江洋次朗助教が退職。担当科目の「マルチメディア表現と技術Ⅰ」「マルチメディア表現と技術Ⅱ」を吉田一誠准教授の担当に変更。「ソフトウェア工学」の後任については令和7年5月にAC教員審査受審予定。
- ・飯田栄治教授が就任（令和6年11月AC教員審査受審済）。担当科目は「プログラミングⅡ及び演習」「プログラミングⅢ及び演習」「人工知能入門」「オペレーティングシステム」「ヒューマン・コンピュータ・インタラクション」「デジタル信号処理」「コンピュータ工学実践演習A」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」。
- ・吉田一誠准教授が就任（令和6年5月AC教員審査受審済）。担当科目は「マルチメディア表現と技術Ⅰ」「マルチメディア表現と技術Ⅱ」「プログラミングⅡ及び演習」「グラフィックス」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」。
- ・ゴータムビスヌブラサド教授の教員区分を基（主専）から基（他）に変更。
- ・担当科目の調整のため、笠間弘美その他教授の担当科目から「英語Ⅲ」「英語Ⅳ」「TOEIC EnglishⅠ」「TOEIC EnglishⅡ」を削除。
- ・担当科目の調整のため、中崎崇志その他教授の「心理学の基礎」の担当を、鈴木賢男その他教授の担当に変更。
- ・担当科目の調整のため、中村直行その他准教授の担当科目「哲学Ⅰ」「哲学Ⅱ」を水橋雄介その他講師の担当に変更。
- ・担当科目の調整のため、松村祐香里その他准教授の担当科目「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」「英語Ⅲ」「英語Ⅳ」を削除。
- ・担当科目の調整のため、板垣真任その他講師及び安田寛子その他講師、吉本恵律子その他講師の担当科目から「英語Ⅲ」「英語Ⅳ」を削除。
- ・小川慶太その他講師が就任。担当科目は「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」。
- ・担当科目の調整のため、小林花代その他講師及び孫工季也その他講師の担当科目から「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」を削除。
- ・ブラッドウィンフィールドその他講師が就任。担当科目は「英語Ⅲ」「英語Ⅳ」。
- ・四柳千佳子その他講師が就任。担当科目は「TOEIC EnglishⅠ」「TOEIC EnglishⅡ」。

【令和8年度】

- ・科目担当の調整のため、「マルチメディア表現と技術Ⅱ」を高木直史教授の担当に追加し、松田聡浩教授の担当から外す。（令和7年8月AC教員審査受審済。）
- ・宮地浩子その他講師の就任辞退に伴い、「プロジェクトマネジメント」を岩岡浩一郎教授の担当に追加。（令和8年2月AC教員審査受審済。）
- ・科目担当の調整のため、「情報と職業」の担当を松田聡浩教授から岩岡浩一郎教授の担当に変更。（令和8年2月AC教員審査受審済。）
- ・科目担当の調整のため、加須栄篤教授の担当から「コンピュータ工学実践演習A」を外す。
- ・科目担当の調整のため、佐々木圭一教授の担当から「データ科学実践演習A」を外す。
- ・科目担当の調整のため、田中良巳教授の担当科目「統計的モデリング」「多変量解析」を田中美栄子教授の担当に変更し、（令和7年11月AC教員審査受審済。）、「データ科学実践演習A」を外す。
- ・科目担当の調整のため、田中美栄子教授の担当から「データ科学実践演習B」を外す。
- ・寺岡文男教授が就任。担当科目は「情報通信ネットワークⅠ」「オペレーティングシステム」「情報セキュリティ」「情報通信ネットワークⅡ」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」。（令和8年2月AC教員審査受審済。）
- ・科目担当の調整のため、藤本祥二教授の担当科目「データ分析」を後藤弘光講師の担当に変更。
- ・科目担当の調整のため、松田聡浩教授の担当科目「オペレーティングシステム」を寺岡文男教授、「情報と職業」を岩岡浩一郎教授の担当に変更し、「コンピュータ工学実践演習A」を外す。
- ・サハルジャヴィド准教授が就任。担当科目は「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」「プログラミングⅡ及び演習」「プログラミングⅢ及び演習」「コンピュータ工学実践演習A」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」。（令和7年8月及び令和8年2月AC教員審査受審済。）
- ・小形優人講師が退職。「最適化Ⅰ」「最適化Ⅱ」を桑野裕昭教授とのオムニバス科目から桑野裕昭教授の単独担当科目に変更。（令和8年2月AC教員審査受審済。）「数学科教育法Ⅰ」「数学科教育法Ⅱ」「数学科教育法Ⅲ」「数学科教育法Ⅳ」の担当を桑野裕昭教授に変更予定。（AC教員審査受審中）
- ・陶涛講師が就任。担当科目は「マルチメディア表現と技術Ⅱ」「プログラミングⅡ及び演習」「プログラミングⅢ及び演習」「デジタル信号処理」「コンピュータ工学実践演習A」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」。（令和8年2月AC教員審査受審済。）
- ・チアジェンリン助教が就任。担当科目は「マルチメディア表現と技術Ⅰ」「マルチメディア表現と技術Ⅱ」「ソフトウェア工学」「コンピュータ工学実践演習B」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」。（令和7年8月AC教員審査受審済。）
- ・バタライクリスナブラサド助教が就任。担当科目は「英語コミュニケーションⅢ」「英語コミュニケーションⅣ」「データベースⅠ」「データベースⅡ」「情報システム」「コンピュータ工学実践演習B」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」。（令和7年8月及び令和8年2月AC教員審査受審済。）
- ・寺岡文男教授及び陶涛講師の就任に伴い、飯田栄治教授の担当科目から「プログラミングⅡ及び演習」「プログラミングⅢ及び演習」「人工知能入門」「オペレーティングシステム」「デジタル信号処理」を外す。
- ・陶涛講師の就任に伴い、吉田一誠准教授の担当科目から「マルチメディア表現と技術Ⅱ」を外す。
- ・寺岡文男教授及びバタライクリスナブラサド助教の就任に伴い、ゴータムビスヌブラサド教授の担当科目から「情報通信ネットワークⅠ」「情報セキュリティ」「情報システム」「情報通信ネットワークⅡ」を外す。
- ・科目担当の調整のため「経済学概論」の担当を鳥谷部智規その他講師から根本博その他講師に変更。
- ・野寺巧寛その他講師の退職に伴い、「法学（日本国憲法）」「知的財産権管理」の担当を松本和彦その他教授に変更。
- ・太田康介その他講師の退職に伴い、「スポーツ科学」の担当を松橋和希その他助教の担当に変更。
- ・グラッシリチャードその他講師の退職に伴い、「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」はAC教員審査受審中。「英語コミュニケーションⅢ」「英語コミュニケーションⅣ」はバタライクリスナブラサド助教の担当に変更。（令和8年2月AC教員審査受審済。）
- ・栗原聡その他講師の就任に伴い、高他毅その他講師の担当科目「情報社会論」の担当を変更。
- ・小林花代その他講師の退職に伴い、「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」の担当をサハルジャヴィド准教授の担当に変更。（令和8年2月AC教員審査受審済。）

- (注) 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合**は、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。
原則としてＡＣ教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。
なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、ＡＣ教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、ＡＣ教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、ＡＣ教員審査を受審する必要があります。）
 - ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和7年度開設であれば令和6年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の基幹教員数について、「（2）-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「（2）-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)－① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数（α）	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数（α）の4分の3以上）
14名	7名	11名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)－② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在（報告時）の状況						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（A'）	助手（A'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（B'）	助手（B'）
11	1	2	1	15	15	0	13	2	2	2	19	16	0
(11)	(1)	(2)	(1)	(15)	(15)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況							現在（報告時）の完成年度時の計画						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（C'）	助手（C'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（D'）	助手（D'）
12	2	2	2	18	15	0	12	2	2	3	19	16	0
[1]	[1]	[0]	[1]	[3]	[0]	[0]	[1]	[1]	[0]	[2]	[4]	[1]	[0]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者（「基―」及び「基専」の計）」として記入してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和 4 年10月 1 日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画（改正前大学設置基準等）」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
また、「計（A）」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（A'）」欄には「－」を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月 1 日の教員数（実人数）を記入してください。
・「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1 名減の場合：△ 1）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1 名減の場合：△ 1）

(2)－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
教授 65 教授以外 60 歳	5名	5名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）及び、報告年度の5月 1 日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて基幹教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて基幹教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)－④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】
現在(報告時)の完成年度時の状況(C) / 設置時の計画(A) = 18 / 15 = 120 %
【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】
現在(報告時)の完成年度時の状況(C'') / 設置時の計画(A'') = 15 / 15 = 100 %

(注)・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。

(2)－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 / 現在(報告時)の状況(B) = 5 / 19 = 26.31 %

(注)・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。

(2)－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C') / 設置時の計画(A') = 0 / 0 = - %

(注)・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由
(3)－① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
		該当なし											
合計（D）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（3）－②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
 - ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	准教授	河畑 則文	R6. 4	必修	マルチメディア表現と技術Ⅰ	①	R6. 4. 22付け合意退職により辞任（６）						
				必修	マルチメディア表現と技術Ⅱ	①							
				必修	プログラミングⅡ及び演習	①							
				選択	プログラミングⅢ及び演習	①							
				選択	デジタル信号処理	①							
				選択	コンピュータ工学実践演習A	①							
				必修	卒業研究Ⅰ	①							
				必修	卒業研究Ⅱ	①							
2	助教	張江 洋次朗	R7. 3	必修	マルチメディア表現と技術Ⅰ	①	R7. 3. 31付け自己都合のため辞任（７）						
				必修	マルチメディア表現と技術Ⅱ	①							
				必修	プログラミングⅠ及び演習	①							
				選択	ソフトウェア工学	①							
				必修	データベースⅠ	①							
				選択	コンピュータ工学実践演習B	①							
				必修	卒業研究Ⅰ	①							
				必修	卒業研究Ⅱ	①							
3	講師	小形 優人	R8. 3	必修	線形代数学Ⅰ	①	R8. 3. 31付け自己都合のため辞任（８）						
				必修	線形代数学Ⅱ	①							
				選択	最適化Ⅰ	①							
				選択	最適化Ⅱ	①							
				選択	データ科学実践演習B	①							
				必修	卒業研究Ⅰ	①							
				必修	卒業研究Ⅱ	①							
				選択	数学科教育法Ⅰ	③							
				選択	数学科教育法Ⅱ	③							
				選択	数学科教育法Ⅲ	③							
				選択	数学科教育法Ⅳ	③							
合計（F）					後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
3	人	必修	15	科目	必修	15	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	12	科目	選択	8	科目	選択	0	科目	選択	4	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	27	科目	計	23	科目	計	0	科目	計	4	科目

- (注)・一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。
（学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）
- 昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
 - ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－③ 上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
3	人	必修	15 科目	必修	15 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	12 科目	選択	8 科目	選択	0 科目	選択	4 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	27 科目	計	23 科目	計	0 科目	計	4 科目

(3)－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)－③合計(D)+(F)}{(2)－②設置時の計画(A)} = \frac{3}{15} = 20 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3)－⑤ 令和7年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

1 人

(注) ・ (3)－①、(3)－②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。

・令和8年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3)－⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ 定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和6年4月に辞任した1名については、やむを得ない事情により双方で合意のうえ退職することとなった。担当科目の後任については、令和6年度中に2名の教員がAC教員審査を受審し補充している。
令和7年3月及び令和8年3月に辞任した2名については、自己都合による退職であり、慰留に努めたものの意志は固く退職することとなった。後任については、令和7年8月のAC教員審査で3名、令和8年2月の審査で2名の新規採用教員の審査が通り、採用している。さらに令和8年5月の審査で1名の新規採用を予定している。開講までに後任の審査が間に合わなかった科目については、時期をずらして開講することとしており、学生にはポータルサイト等を通じて連絡されているため、学生に不都合は生じていない。

(注) ・ 上記(3)の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和5年)	・教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッションポリシーを踏まえた適切な入学選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。	【認可】 遵守事項 令和7年度は入学者が55人となり、増加した。入学定員を充足すべく、昨年度からの取り組みを継続するとともに、高校生と在学生との交流機会を設けたり、中学校を含めた周辺地域の学校訪問を精力的に行い、情報工学部の取組を広める活動を実施している。(7) 令和8年度入学選抜における志願者数は205人となり、前年度の194人から微増した。また、入学者数は58人となり、令和7年度の55人から微増した。令和7年度はオープンキャンパスを11回実施し、高校訪問、DXハイスクールとの連携、高校生・高校教員向けDX講座等を継続した。さらに、3年生となった在学生の学修成果や卒業研究に向けた取組が、出身高校を中心に伝わり始めている。加えて、生成AIの仕組みの解説やAIグラスを活用した体験的な説明など、急速に進化するAI技術を学生募集活動に取り入れ、情報工学部の学びの具体像と将来性を周知している。(8)	履行中 令和6年度から地域内の高等学校と連携しDX支援授業の実施を進め、理工系進路に興味を持つ生徒の創出に貢献している。そのかわりの中で、本学部を第一志望とする受験生も見られるようになってきているため、今後は連携実績のある学校との関係性強化を図るとともに新規連携先を開拓しながら、後発である本学部の周知に努め、入学定員の充足を目指す。(7) 令和8年度は、これまでの高校訪問、オープンキャンパス、DXハイスクールとの連携を継続するとともに、在学生の取組をより積極的に学生募集に活用する。現時点では卒業生がいないため就職実績を広報材料として用いることはできないが、地元企業を中心に情報系人材への求人環境は積極的であることを発信する。あわせて、在学生の卒業研究に向けた活動、研究会や学会等での研究発表、生成AIやAIグラスを活用したDX講座等を周知し、情報工学部での学びが将来の進路形成につながることを具体的に示しながら、入学定員の充足を目指す。(8)
認 可 時 (令和5年)	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想について着実に実施すること。	【認可】 遵守事項 学科の教員組織構成について、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員の比率が高いが、新学科設置時には高い実績と経験を備えた教員が欠かせないことから、このような配置を行った。 今後、この経験豊富な教員が若手教員に知識や経験を伝達していくとともに、完成年度を迎える令和10年度を目途に、定年に関する定めの趣旨に沿って持続可能な年齢構成となるよう30～40歳代を中心とした教員の採用を計画していくこととする。(7) 完成年度前に定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員の割合が高いことを踏まえ、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用と、教育研究実施組織における教員編制の将来構想の実施に努めている。令和7年度においても、情報工学、AI、データサイエンス、情報システム等の教育研究分野を安定的に担当できる体制の維持に留意し、既存教員の教育研究経験を活かしつつ、今後の教員編制のあり方について継続的に検討を行った。特に、学部開設後3年目を迎え、在学生が卒業研究に向けた活動を本格化させる段階に入ったことから、専門教育及び研究指導を継続的に実施できる体制の確保を重視している。(8)	履行中 定年規程を超えて採用している熟練教員が若手教員に知識や経験を伝える指導体制を構築するとともに、完成年度を迎える令和10年度を目途に、定年に関する定めの趣旨に沿って持続可能な年齢構成となるよう30～40歳代を中心とした教員の採用を計画していくこととする。(7) 令和8年度以降も、定年規程の趣旨を踏まえ、基幹教員の年齢構成に留意しながら、教育研究実施組織における教員編制の将来構想を着実に実施する。特に、情報工学部では、今後、卒業研究、就業体験、地域企業との連携、研究会・学会等での在学生の研究発表など、専門教育の高度化が進むことから、AI、データサイエンス、ソフトウェア、情報システム等の各分野を安定的に担当できる教員体制の整備を進める。定年規程の適切な運用を行うとともに、必要に応じて後任又は若手・中堅教員の確保を検討し、完成年度以降も継続的かつ安定的な教育研究体制を維持する。(8)

認 可 時 (令和5年)	・経済学部経営学科の 収容定員超過の是正に 努めること。	【認可】 遵守事項	令和7年度については、昨年の減少 を取り戻すべく、学生募集に励ん だ結果、入学者113人(1.25)と再 び定員を超える入学生を迎えるこ ととなった。収容定員充足率は 1.10と昨年と同程度に押さえら れているものの、引き続き100%に 近い定員充足率となるよう定員管 理に努めたい。(7) 令和8年度については、積極的な学 生募集活動等の成果もあり、志願 者数が281名(前年度208名)と大 幅に増加した。この急激な志願者 動向の変化に対し、過去の推移を 踏まえて合格者数を算定したもの の、受験生の強い入学志向に伴い 入学手続率(歩留まり率)が想定 を大幅に上回った結果、入学者数 は121人(1.34)となり、入学定員 を大きく超過する結果となった。 一方、収容定員充足率については 1.08と前年度(1.10)より微減し たものの、依然として超過状態が 続いている。志願者増加という募 集面の好調さはあるものの、入学 定員の大幅な超過が収容定員管 理に与える影響を厳粛に受け止め、 早期の適正化に向けた運用の見直 しが急務であると認識している。 令和9年度より経済学部経済情報学 科の設置に伴い、経営学科の入学 定員を5名増やす予定としており、 状況の改善が見込まれる。(8)	履行中	来年度以降の学生募集において も、定員超過及び未充足の対策に ついて、オープンキャンパス等で 実施している入学アンケートの分 析を進め、これまで同様学生募集 に励むとともに適正な定員管理に 努めたい。(7) 来年度以降の学生募集および入試 運営においては、今回の志願者急 増の要因や入試区分ごとの入学手 続率を分析・検証し、志願者動向 の予測精度向上を図る。 その上で、収容定員超過の確実な 是正に向け、志願者数が高水準で 推移する場合であっても、当初の 合格者数をより厳格に絞り込む等 の措置を講じる。これにより、入 学定員充足率および収容定員充足 率がともに100%に近づくよう、実 効性のある適正な定員管理を徹底 したい。(8)
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和7年度)	・収容定員充足率が 0.43倍と著しく低い。 教育内容の更なる充実 を図りつつ、提示され た学生確保に向けた取 組等を確実に実施する とともに、より効果的 な改善策を新たに講じ る等、収容定員の更な る充足に努めること。 また、速やかに長期的 な学生確保の見通しを 客観的根拠に基づき分 析した上で、適切な収 容定員の見直しを検討 すること。(情報工学 部情報工学科)	【AC】 指摘事項 (是正)	情報工学部情報工学科において は、収容定員充足率が0.43倍と低 い状況にあることを踏まえ、学生 確保に向けた取組を継続的に実施 している。令和7年度は、オープン キャンパスを11回実施するととも に、高校訪問、DXハイスクールと の連携、高校生・高校教員向けDX 講座等を通じて、情報工学部の教 育内容や将来性の周知に努めた。 その結果、令和8年度入学者選抜に おける志願者数は205人となり、前 年度の194人から微増した。また、 入学者数も58人となり、令和7年度 の55人から微増した。加えて、学 部開設後3年目を迎え、在学生在が卒 業研究に向けた活動を本格化させ る段階となったことから、在学生の 学修成果や成長を学生募集活動に 活用する取組を進めている。特に、 在学生の出身高校を中心に、学 部での学びや大学生活の具体像が 伝わりつつある。また、生成AIの 仕組みの解説、AIグラスを活用し た体験的な説明、人工知能学会会 長である栗原聡教授の非常勤講 師招聘、公開講座の実施等によ り、急速に進化するAI技術と情報 工学部の学びを結び付けた広報活 動を展開している。現時点では卒 業生がいないため就職実績を活用 できないが、地元企業を中心とし た積極的な求人環境や、在学生の 研究会・学会等での研究発表の実 施及び周知を視野に入れ、学修成 果の可視化に努めている。(8)	履行中	令和8年度以降も、収容定員の充足 に向けて、教育内容の充実と学生 募集活動の強化を一体的に進め る。具体的には、オープンキャン パス、高校訪問、DXハイスクール との連携、高校生・高校教員向け DX講座等を継続するとともに、在 学生の学修成果、卒業研究に向け た活動、研究会・学会等での研究 発表を積極的に周知し、情報工学 部で学ぶ具体的な意義を高校生、 保護者、高校教員に分かりやすく 発信する。また、生成AI、AIグラ ス等の新しいAI技術を活用した体 験的な広報を継続し、AI、デー タサイエンス、DX、プログラミング 等の成長分野を学べる学部として の特色を明確に示す。あわせて、 志願者数、入学者数、オープン キャンパス参加者数、高校訪問の 反応、地域における情報系人材需 要、競合校の状況等を継続的に把 握し、長期的な学生確保の見通し について客観的根拠に基づく分析 を行う。その結果を踏まえ、学生 募集活動の改善を進めるととも に、必要に応じて収容定員の適切 な見直しについても検討する。特 に、完成年度を迎えるまでの間 は、教育研究体制、就職支援、地 域企業との連携、学生募集状況を 総合的に点検し、収容定員の更な る充足に向けた実効性のある改善 策を講じる。(8)

設置計画履行状況 調査結果 (令和7年度)	・改善策を講じているものの、引き続き多くの基幹教員が辞任していることから、教育研究水準の維持向上等に配慮した安定的な教員組織の編制のため、示された改善策を着実に実施するとともに、詳細な原因分析及びより効果的な改善策について検討すること。(教育学部教育学科)	【AC】 指摘事項 (改善)	前年度に立ち上げた法人幹部を含む検討委員会を開催し、詳細な原因分析に基づく改善策を実施した。現教員への定期的な意思確認や個々の事情の早期把握、研究・教育環境の整備に努めた結果、今年度の教員の自己都合による離職は1名に抑えられた。これまでの面談による早期の課題解決や慰留措置が一定の成果を上げ、教員組織の安定化が進みつつある兆候と分析している。また、辞任等に伴う後任人事においては、科目適格性を厳格に審査した上で、新たに2名の若手教員を採用した。これにより、教員の年齢構成の平準化と同時に、将来にわたって持続可能で活気ある教育研究体制への移行を進めている。(8)	履行中	今後も検討委員会を継続して開催し、教員へのきめ細かなヒアリングや研究・給与面等の環境改善を引き続き実施し、教員が抱える個々の事情や課題を常に学内で共有・解決できる体制を維持することで、辞任の未然防止に努める。地域外から新たに赴任した教員については、安心して教育研究に専念できるよう、学内コミュニケーションの活性化など、定着に向けた組織的なフォローアップ体制を構築する。これにより、生活環境や研究環境の変化による不安を解消し、中長期的な離職防止を徹底するとともに、科目に対する教員の適正配置や計画的な教員選考を継続し、教育研究水準の持続的な向上と学生への確実な支援体制の維持を図っていく。(8)
設置計画履行状況 調査結果 (令和7年度)	・定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実行すること。(栄養学部栄養学科)	【AC】 指摘事項 (改善)	昨年度に策定した計画に基づき、定年規程を超える教員の順次退任と組織の若返りに向けて、検討委員会を中心に積極的な公募および採用活動を展開した。しかしながら、栄養学分野における特定の専門性を有する教員の人材市場の逼迫や地域的要因等から、求める要件を満たす若手・中堅教員の確保は極めて難航している。このような状況下において、完成年度を経過した現在も、学生に対する教育の質の担保およびカリキュラムの確実な履行を最優先に考慮した結果、実績と経験の豊富な教員を継続して任用している。定年超過教員の割合が高い現状の即時是正には至っていないものの、教育研究水準を維持し学生に不利益を与えない体制を堅持しつつ、組織編制の将来構想に向けた調整を継続している。(8)	履行中	今後とも、教育の質を維持しながら定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用を達成するため、検討委員会において教員組織編制の将来構想を再点検し、段階的な年齢構成の是正に向けた実効性の高い採用活動を継続する。具体的には、従来の一般的な公募形式にとどまらず、関連学会や研究機関、他大学とのネットワークを幅広く活用したアプローチを強化するとともに、実務家教員の登用も含めた採用ルートの多様化を図ることで、求める人材の確保に全力を注ぐ。また、現在在籍している退職年齢を超える教員が有する優れた知識や経験の確実な継承を計画的に進めつつ、新たに迎える教員の定着を促す学内サポート体制を整備し、中長期的な視点から持続可能で適正な年齢構成による教員組織の構築を着実に実行していく。(8)

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。
【令和 7 年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和 7 年度報告書の記載内容を転記し文末に「（ 7 ） 」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（ 8 ） 」と記載してください。
【令和 7 年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和 7 年度報告書の記載内容を転記し文末に「（ 7 ） （ 8 ） 」と記載してください。
【令和 8 年度から新たに調査対象となった学科等又は令和 7 年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（ 8 ） 」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。
その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<情報工学部 情報工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

本学では、FD活動は、学長指揮のもとで大学改革を推進するための学内組織「教育開発センター」が取り組むプロジェクトの1つに位置付けられており、これらを推進する組織として副学長を委員長とする大学FD委員会を全学的な委員会として設置し、活動を行っている。また、SD活動についても、大学FD委員会や担当事務職員が中心となり、FD活動との連携を重視しながら計画的に実施している。

※関係規程等

大学FD・SD委員会規程 ○金沢学院大学FD・SD委員会規程 施 行 平成20年4月1日 (趣旨) 第1条 この規程は、金沢学院大学学則第24条の2並びに学校法人金沢学院大学評価委員会規程第8条の定めに基づき、金沢学院大学(以下「本学」という。)で実施するファカルティ・ディベロップメント(FD)、教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、法令遵守及び大学運営に必要な能力及び資質を向上させるために大学設置基準の定めにより実施するスタッフ・ディベロップメント(SD)を円滑に行うため、大学FD・SD委員会(以下「委員会」という。)を置くことについて、必要な事項を定めるものとする。 (任務) 第2条 委員会は、本学の教育研究活動の向上及び運営に必要な能力及び資質の向上に関して検討を行い、その質的充実を図ることを目的として、次の事項を審議し、必要に応じて教学審議会の議に付する。 (1) FD・SD活動の企画立案 (2) FD・SD活動の実施計画の立案 (3) FD・SD活動の点検 (4) FD・SD活動に関する情報の収集と提供 (5) その他、理事長・学長の諮問する事項 2 委員会の承認のもとに、年度ごとに必要に応じた分野の小委員会を設ける。なお、小委員会は、委員会に検討・実施事項を報告するものとする。 3 委員会が必要と認める場合、併設校である金沢学院短期大学FD・SD委員会と連携することができる。 (構成) 第3条 委員会は、原則として、次の各号に定める委員を以て組織する。ただし、必要がある場合、第3項が規定する小委員会委員の中から若干名を加えることができる。 (1) 委員長 (2) 委員(小委員長) 若干名 2 前項の委員長は学長が任命し、委員は委員長が委嘱する。 3 委員は、原則5名以内の小委員会委員を以て各小委員会を組織する。 (任期) 第4条 委員の任期は1か年とする。ただし、再任を妨げない。 (会議) 第5条 委員会は、委員長が招集し、議長となる。 2 委員長に事故あるときは、予め委員長が指名した委員がその職務を代行する。 3 委員会が必要と認めた場合は、委員以外の教職員の出席を求め、意見を聴取することができる。 (事務) 第6条 委員会に係る事務は、企画部が所掌する。 附 則 1 この規程は、平成20年4月1日から施行する。 2 この規程は、平成25年4月1日から施行する。 3 この規程は、令和2年4月1日から施行する。
--

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和6年度は、各学部や事務職員から選出された委員からなる全学FD・SD委員会を組織して取り組んだ。委員を集めての会議はあまり実施していないが、必要に応じて書面付議による審議を行った。また、副学長を長として組織された教育開発センターの定例会議において、センターの構成員を兼ねる全学FD・SD委員会委員長が全学研修会での報告内容等を議事として提出し、審議や意見聴取等を行った。

c 委員会の審議事項等

教員の教育力の一層の向上を目指し、教育の実質化を図るために、定期的開催するFD／SD研修会の企画について議論を重ねている。また、FDについてはピアレビュー改革プロジェクトを中心に、授業評価アンケートやピアレビューの実施方法について見直し、評価結果について集計・分析も実施している。

SDについては、各部署の業務や、外部の研修会で得た知識等を共有できるような研修のあり方について、議論を重ねた。

② 実施状況

a 実施内容

- ①教員相互の授業参観及びピアレビュー
- ②授業評価アンケート
- ③FD／SD研修会

b 実施方法

- ①前年度後期に引き続き、すべての授業期間をピアレビュー期間に設定し、教員全員がピアレビューのために授業を公開して、空き時間のある教員が参観した。その後、授業者とレビューヤーによる意見交換の場を設けることとした。
- ②前期及び後期の2回、各期末に15項目の質問と自由記述によるオンラインアンケート調査を実施した。
- ③FD研修会・SD研修会
令和7年度は以下の要領で、併設の金沢学院短期大学と合同で全学的な研修会を実施した。

第1回FD・SD研修会

日 時：令和7年6月6日(金) 16:45-17:45
内 容：生成AIツールの紹介と業務への活用
1. 生成AIツールの紹介
2. 業務で活用できそうなアイデア紹介
※対面での実施

第2回FD・SD研修会

日 時：令和7年11月21日(金) 16時50分～18時00分
内 容：「修学から就労へ：“特別”ではない身近な支援を知る」
※ 対面での実施

上記の他、新任教員研修を3回実施している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

教員相互のピアレビューは全教員を対象に実施しており、授業アンケートも全教員が対象となっている。
FD研修会およびSD研修会への参加については、学長がリーダーシップをもって全員参加を呼び掛けている。そのため、やむを得ない出張や会議あるいは当番職員を除いて、必ず1回は研修会に参加できるよう工夫し、ほぼ全員が出席できるようにしている。各研修会の出席状況については以下のとおりである。例年、夏季・春季の長期休業期間を利用して開催してきたが、令和7年度は通常の講義期間中に開催したこともあり、例年よりも参加者が少なくなっている。

第1回FD／SD研修会 出席者53名（大学教員25名 短大教員4名 事務職員24名）
第2回FD／SD研修会 出席者60名（大学教員42名 短大教員12名 事務職員6名）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

これまで実施してきたピアレビューについては、全ての授業回を参観可とし、参観後は相互もしくはチームでディスカッションを行い、振り返りを重視することとしている。

また、平成30年度から準備を進めてきたアセスメントポリシーの策定に伴い、評価の適正化をはかるため、ルーブリックの導入も進めている。

令和7年度の第1回研修会では、前年度に生成系AIを含む情報システムの利活用のための教育に取り組む方針を掲げたことをうけて、主に職員の業務効率に寄与する目的で、実際に生成AIを業務にどのように導入するかについて講習を実施した。第2回研修会では、合理的配慮の提供の義務化に伴い、本学でも就学・修学についての支援体制を整えてきた一方で、卒業後のキャリア形成支援に関しては学生の意向に依存する傾向が強かったことを踏まえ、外部講師（就労支援事業者）より講師を迎え、教職員がそれぞれの立場から就労支援事業についての知見を深めた。

a 実施の有無及び実施時期

前期及び後期の2回実施した。令和6年度に改訂した項目内容を引き続き使用し、15項目の質問と自由記述からなるオンラインアンケートを作成した。このアンケートのURLを学内ポータルサイトに掲載した。学生には学内ポータルサイト及び各科目担当教員から呼びかけて、回答を求めた。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果については、教育開発センター会議において報告がされている。その内、早期対応が必要と思われる教員や授業については、学長の指示のもとで個別に指導・対応をしている。また教員ごとに担当科目についての集計結果をPDFで送付し、確認及び改善を求めている。

なお、アンケートの集計結果については本学ホームページ「情報公開」において、学部・学科間での比較ができるような形で公開している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学初の理工系学部となる情報工学部は、成長分野として最も有力視されているデジタルを中心にすえ、ソフトウェア開発技術を駆使し、新しい時代の情報処理システムを社会や企業に開発提供することにより社会においてDXを推進できる人材養成を目的として開設した。3年目を迎えた今季も、学生募集に尽力したものの以前として定員未充足の状態が続いている。DXハイスクールをはじめとした高大連携に力を入れ、地元の高校とのつながりを強化することで、本学の教育をアピールする場は確実に増えている。3年生となった在学生のゼミ活動の成果を出身校への訪問に活用することで、学生募集に生かしていきたい。さらには著名な講師を招聘した講義を実施するなど、生成AIなどの最新技術を利用した魅力ある学びづくりを進める。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和8年5月 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・令和10年に評価機関（公益財団法人日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和8年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。